

## 2020 年度前期 京都大学文学部 授業評価アンケート 集計結果

京都大学文学部・文学研究科では、学期末に授業評価アンケートを実施し、自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。ご協力いただきました教員・学生の皆さんに、お礼申し上げます。

### 【実施時期】

2020 年 7 月 9 日～8 月 19 日

### 【回答率】

対象科目数 443 科目、履修者数(延べ) 5,527 人に対し、回答者数は 936 人、回答率は 16.9%であった。

### 【結果の概評】

アンケートの回答率は 16.9%であり、昨年度前期(13.7%)よりは上昇したものの、依然として低空飛行である。文学部の授業は少人数授業が多く授業中にアンケートを行うのが難しいという事情もあるものの、さらに少人数授業の割合が高いと考えられる大学院生を対象とするアンケートの回答率がこれよりも高いことを踏まえるならば、回答率向上の余地は大いにあると言わざるを得ない。

今年度前期は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、授業開始が遅れ、開始後の授業は実質的にすべてがオンライン・ミーティング形式などの非対面型で実施された。今年度前期のアンケート結果の考察に際しては、授業実施形態という点で従来と大きな相違があることを念頭に置く必要があるだろう。

授業への出席回数を問う Q.01 への回答で「10 回以上 13 回未満」が最大の 71.7%を占めているのは、授業回数自体が少なかったことを反映していると考えられる。皆勤に相当する「13 回以上」の 10.6%をこれに加えると、計 82.3%となる。アンケート回答者については、例年以上に授業への出席率が高かったことが窺われる。

これに関連して注目されるのは、Q.02「この授業のために、予習・復習、宿題・課題を行った合計の時間はどれくらいですか」に対して、従来に比べて長時間を自習に充てたとする回答が増加したことである。昨年度前期には「0.5 時間以上 1 時間未満」(32.7%)に分布の山があったのに対して、今年度前期は「1 時間以上 2 時間未満」(37%)に山がある。より長時間という回答も増加しており、結果的に、昨年度前期には 1 時間以上との回答が計 41.4%であったのに対して、今年度前期はそれが 64.3%に増加している。

おそらくこのことは、全体に好ましい影響を及ぼしている。授業への参加の意欲を問う Q.03 に対する、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせたポジティブな回答の合計は 87% (昨年度前期比 11 ポイント増)、Q.11「この授業を通じて知的な問題に取り組む力が向上しましたか」に対するポジティブな回答の合計は 89% (同 7 ポイント増)となっている。このような結果には、コロナ感染対策のために多くの学生が自宅にとどまらざるを得なか

ったという状況がおそらく関係している。学内外における学生の活動が大きな制約下におかれたことそれ自体は決して望ましいことではないものの、学部学生の授業への取り組みという点では一定の好ましい変化が見られたと評価することができる。

その他の多くの項目では、前回との相違はプラスマイナス 3 ポイント以内であり、非対面型授業においても、授業への学生の評価に大きな変化は見られなかったといえる。Q.04「授業に対する教員の熱意は感じられましたか」や Q.06「授業はシラバスに沿っていましたか」への評価が例年通りの高水準を維持したこと、および Q.12「この授業は全体として満足できるものでしたか」に対するポジティブな回答が 92%（昨年度同期比プラス 3 ポイント）という高率に達したことは、非対面型授業が概ね順調に行われたことを物語っていると考えられる。

ただし、Q.07「教員の声はよく聞こえましたか」に対するポジティブな回答は 86%（同マイナス 5 ポイント）、Q.09「学生の理解度や反応に配慮して授業が進められましたか」に対するポジティブな回答は 81%（同マイナス 2 ポイント）、Q.10「自主的な学習を促すための工夫や補足説明がありましたか」に対するポジティブな回答は 83%（同マイナス 1 ポイント）など、改善の余地があることを示す数字も出ている。

アンケートの自由記述欄（ウェブ上では非公開）には、例年以上に多くの回答があった。そこから全体に共通する特徴を抽出するのは困難であるが、上記の各項目についての回答を裏づける記述が多く見られた。一方には、非対面型の授業に問題や痛痒を感じなかった、あるいは視覚的な教材の活用などの点で対面型よりも優れていると感じた、などのポジティブな記述がある一方で、音声や画像の通信に問題があったとの指摘、非対面型の授業に教員が対応できていなかった、などのネガティブな指摘もある。また、対面型授業よりも集中力を維持するのが難しかった、あるいは同じ授業を受講している学生相互のコミュニケーションが困難であった、という感想も寄せられた。さらに、非対面型の授業で教員が通常時よりも多くの課題を課す傾向にあったために、全体として課題の負担が過重になったとの指摘が少なからずあったことは、授業全体が非対面型に移行したことを俯瞰した上での全体的な対応に不十分な面があったことを示唆している。

非対面型授業および後期に開始された非対面型と対面型を組み合わせるハイブリッド型授業のあり方については、個々の授業についてのみならず、全体的な対応についても、学生の視点を踏まえた検討と改善の余地があるだろう。

アンケート名 2020年度\_前期\_文学部\_授業評価アンケート

部局 文学部

開講年度 2020

対象科目数 443

履修者数 5527

回答者数 936

回答率 16.9

結果 (Q.01) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。

A: 13回以上 (99票/10.6%)

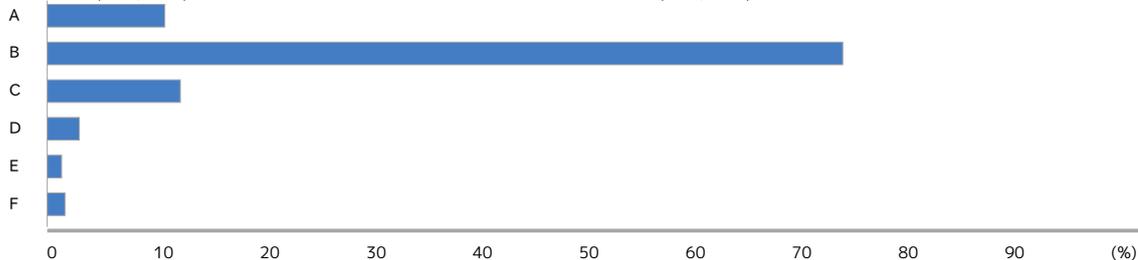
C: 7回以上10回未満 (112票/12%)

E: 4回未満 (12票/1.3%)

B: 10回以上13回未満 (671票/71.7%)

D: 4回以上 7回未満 (27票/2.9%)

F: 無回答 (15票/1.6%)



(Q.02) この授業のために、予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間 (学期を通じた1週間当たりの平均値, 30分単位) はどれくらいですか。

A: 3時間以上 (124票/13.2%)

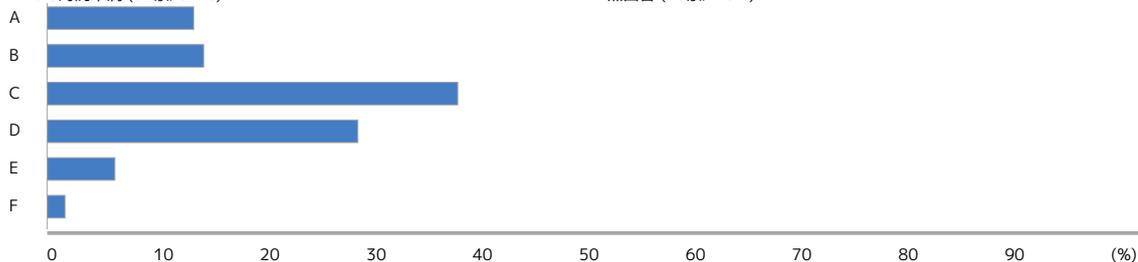
C: 1時間以上2時間未満 (346票/37%)

E: 0.5時間未満 (57票/6.1%)

B: 2時間以上3時間未満 (132票/14.1%)

D: 0.5時間以上1時間未満 (262票/28%)

F: 無回答 (15票/1.6%)



(Q.03) あなたはこの授業に意欲的に参加しましたか。

A: とてもそう思う (332票/35.5%)

B: そう思う (485票/51.8%)

C: どちらとも言えない (93票/9.9%)

D: そう思わない (21票/2.2%)

E: 全くそう思わない (4票/0.4%)

F: 無回答 (1票/0.1%)



(Q.04) 授業に対する教員の熱意は感じられましたか。

A: とてもそう思う (546票/58.3%)

B: そう思う (346票/37%)

C: どちらとも言えない (35票/3.7%)

D: そう思わない (3票/0.3%)

E: 全くそう思わない (6票/0.6%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.05) この授業は体系的であり、よくまとまっていましたか。

A: とてもそう思う (473票/50.5%)

B: そう思う (383票/40.9%)

C: どちらとも言えない (61票/6.5%)

D: そう思わない (13票/1.4%)

E: 全くそう思わない (5票/0.5%)

F: 無回答 (1票/0.1%)



(Q.06) 授業はシラバスに沿っていましたか。

- A: とてもそう思う (453票/48.5%)
- B: そう思う (403票/43.1%)
- C: どちらとも言えない (54票/5.8%)
- D: そう思わない (18票/1.9%)
- E: 全くそう思わない (5票/0.5%)
- F: 無回答 (1票/0.1%)



(Q.07) 教員の声はよく聞き取れましたか。

- A: とてもそう思う (496票/53.1%)
- B: そう思う (294票/31.5%)
- C: どちらとも言えない (119票/12.7%)
- D: そう思わない (13票/1.4%)
- E: 全くそう思わない (7票/0.7%)
- F: 無回答 (5票/0.5%)



(Q.08) 板書の文字や機器による掲示は見やすかったですか。

- A: とてもそう思う (443票/47.4%)
- B: そう思う (342票/36.6%)
- C: どちらとも言えない (118票/12.6%)
- D: そう思わない (17票/1.8%)
- E: 全くそう思わない (7票/0.7%)
- F: 無回答 (7票/0.7%)



(Q.09) 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められましたか。

- A: とてもそう思う (382票/40.9%)
- B: そう思う (375票/40.1%)
- C: どちらとも言えない (122票/13.1%)
- D: そう思わない (38票/4.1%)
- E: 全くそう思わない (12票/1.3%)
- F: 無回答 (5票/0.5%)



(Q.10) 自主的な学習を促すための工夫や補足説明がありましたか。

- A: とてもそう思う (383票/41%)
- B: そう思う (394票/42.2%)
- C: どちらとも言えない (124票/13.3%)
- D: そう思わない (28票/3%)
- E: 全くそう思わない (5票/0.5%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.11) この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上しましたか。

- A: とてもそう思う (396票/42.4%)
- B: そう思う (439票/47%)
- C: どちらとも言えない (77票/8.2%)
- D: そう思わない (19票/2%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.2%)
- F: 無回答 (1票/0.1%)



(Q.12) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: とてもそう思う (486票/52%)
- B: そう思う (379票/40.6%)
- C: どちらとも言えない (46票/4.9%)
- D: そう思わない (15票/1.6%)
- E: 全くそう思わない (5票/0.5%)
- F: 無回答 (3票/0.3%)



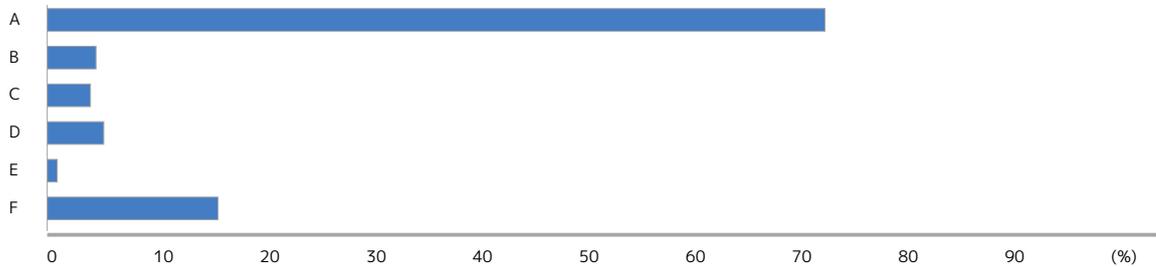
(Q.13) あなたは、シラバスを活用（使用）しましたか。

- A: はい (770票/82.4%)
- B: いいえ (164票/17.6%)
- C: 無回答 (0票/0%)



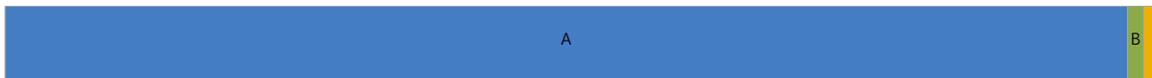
(Q.14) Q.13で「はい」と答えた方は、どのように活用しましたか（複数選択可）。

- A: 科目選択・履修登録に活用 (749票/70.1%)
- B: 予習・復習に活用 (47票/4.4%)
- C: 受講にあたり授業中などに活用 (42票/3.9%)
- D: 試験・レポートに活用 (55票/5.1%)
- E: その他 (10票/0.9%)
- F: 無回答 (165票/15.4%)



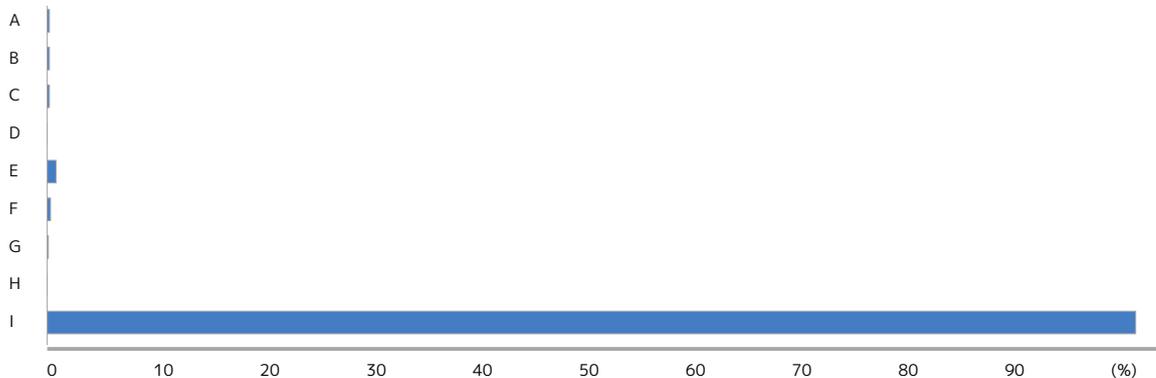
(Q.15) シラバスの情報は十分なものでしたか。

- A: はい (913票/97.8%)
- B: いいえ (13票/1.4%)
- C: 無回答 (8票/0.9%)



(Q.16) Q.15で「いいえ」と答えた方は、理由を以下より選択して下さい（複数選択可）。

- A: 「授業の概要・目的」の情報が不十分 (2票/0.2%)
- B: 「到達目標」の情報が不十分 (2票/0.2%)
- C: 「授業計画と内容」の情報が不十分 (2票/0.2%)
- D: 「履修要件」の情報が不十分 (0票/0%)
- E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分 (8票/0.8%)
- F: 「教科書」及び「参考書等」の情報が不十分 (3票/0.3%)
- G: 「授業外学習（予習・復習）等」の情報が不十分 (1票/0.1%)
- H: 「その他」の情報が不十分 (0票/0%)
- I: 無回答 (924票/98.1%)



(Q.17) この授業についての感想、授業の内容・方法などについての希望、改善してほしい点があれば書いて下さい。[200字上限]

(Q.18) 今学期はコロナ感染対策のため、遠隔形式（Zoom等）で授業が実施されました。遠隔形式でこの授業を受けてみた感想（良かった点、悪かった点、通信環境、改善してほしい点等）があれば書いて下さい。[200字上限]